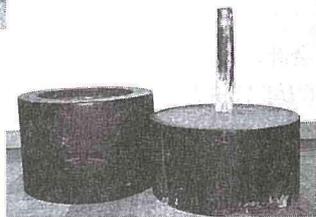


# ふれあい 広場



豊郷公民館にあるこの杵搥臼は、瓦谷町の金田さんから贈られました。銘文には文化14年（一八一七年）とありますから、約百八十年前に作られたものです。江戸時代から明治にかけて使われていたのでしょう。大きさは、直径が五十五センチ、高さ六十九センチもあります。柳の木でできており「木ずるす」と呼ばれていました。

このうすは、玄米一升をひくのに五十回以上回します。しかし、粘土で作ったうすの「土ずるす」では十回くらいで済んでしまうので、やがて、より効率が良い「土ずるす」に変わっていきました。



瓦谷町 小堀 鉄夫さん

## もみすりうす 木製杵搥臼

昭和31年6月3日、市指定文化財

文化財ウォッチング

